

科目コード	2694808	授業概要 【授業内容】 近年頻発する巨大台風や集中豪雨といった異常気象により天気予報はますます重要となりつつあると同時に、気象や気候の影響を受ける産業（農業、漁業、建設業、エネルギー業、小売業、医療業・・・）において生産性を高めリスクを下げるために天気予報を効果的に活用することが望まれます。この授業では、気象学の基礎を学び、天気予報の仕組みと天気図等の見方を理解するとともに、気象情報の効果的な活用方法についても学習します。 【到達目標】 ・気象予報の仕組みと原理を理解できるようになる。 ・天気図パターンを知り、地上天気図から天気を予測できるようになる。 ・温帯低気圧のメカニズムを理解し、高層天気図の見方を理解できるようになる。 ・リードタイムの異なる様々な気象情報について理解できるようになる。 【授業テーマ】 第1回 天気予報の仕組み 第2回 天気予報の物理学 第3回 地上天気図の見方 第4回 地上天気図のパターン 第5回 高層天気図の見方 第6回 温帯低気圧と天気図 第7回 天気図解析実習 第8回 様々な気象情報 【学生へのメッセージ】 最近よく当たるようになってきた天気予報を皆さんの生活や仕事に役立ててみませんか？気象予報士の仕事に触れてみましょう！ 【受講前の準備学習等】 テレビやインターネットからどのような気象情報があるのかを調べてみましょう。それらについて目を通してあげばこの講義の理解に役立ちます。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び以下のレポート課題の評点により行います。 レポート課題：気象情報のもつ性質を整理し、皆さんの生活や仕事にどのように活用することができるかを考察してください。 なお、レポートは後日返却します。 【受講者が当日用意するもの】 色鉛筆（あればご持参ください。天気図分析のために利用します。） スマートフォンやタブレット端末（インターネット上の気象情報を見るために利用しますが無くても支障ありません。） 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・新 百万人の天気教室（改訂版）（白木正規 著／成山堂書店／¥3,520／ISBN=9784425513529） ・図解入門 最新天気図の読み方がよ〜くわかる本【第3版】（岩槻秀明／秀和システム／¥2,090／ISBN=4798064807） 【その他（特記事項）】 必要な教材は配布しますので、参考書は必ずしも購入していただく必要はありません。
学習センター	岐阜学習センター	
学習センターコード	21A	
クラスコード	K	
科目名	天気予報の仕組みと使い方	
科目区分	専門科目：自然と環境	
ナンバリング	320	
定員	40名	
担当講師	ヨシノ ジュン 吉野 純 岐阜大学工学部教授／岐阜大学工学部 附属応用気象研究センターセンター長	
日程 実施時間	11月21日(土) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 11月22日(日) 第1時限 9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 隙・レポート 15:55～16:40	
実施会場	岐阜学習センター	